



2016～2017年度国際ロータリー会長ジョン・ジャーム

**会報**  
Weekly Report  
AKISHIMA TOKYO

【例会場】 フォレスト・イン昭和館 TEL:042-542-5555  
例会日 毎週木曜日 開会点鐘 12時30分～  
【事務局】 〒196-0014 東京都昭島市田中町562-8 昭和第1ビル202-B  
TEL 042-543-8975 FAX 042-541-1117  
ホームページ http://www.akishima-rc.org  
E-mail akishima-rc@hkg.odn.ne.jp

**会長方針 「信頼」と「誇り」と「連帯感」**

第2379回 例会報告 2016年10月20日発行 VOL. 49-13  
2016年10月13日(木)例会

○司会 ロータリー財団・米山奨学委員会  
志茂 光男 委員

【開会点鐘】12時30分 安保 満 会長



【斉唱】  
ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 荒巻 正康 会員



**来訪者紹介**

2750地区米山奨学委員会・米山推進委員長  
柳田 一行 様

**会務報告 安保 満 会長**



1. 今月は特別月間「経済と地域社会の発展月間」と「米山月間」です。米山月間に因みまして地区より柳田様にお越し頂き米山奨学事業の卓話をお願いしました。
2. 皆様方のテーブルにある「ロータリー財団ニュース」

10月号に当クラブ平和フェローカウンセラー阿島会員の写真が掲載されています。

3. 10月6日(木)会員増強委員会が会長・幹事と歴代増強委員長、今年度委員が出席して開催されました。

4. 10月11日(火)地域社会を対象とした経済的事情で学習塾に通えない小学生中学生の子供達に学習と交流の機会を与えるための事業のため社会奉仕プロジェクトは団体に支援します。クラブ事務局において贈呈式を行いました。又、団体の活動などについて来年3月頃に卓話をお願い致しました。



**幹事報告 相田 禎延 幹事**

1. 10月20日(木)ガバナー公式訪問について資料を配付させていただきました。

※配付資料でご確認下さい。

2. 第2回新会員オリエンテーション開催の案内が届いています。

日時 12月5日(月)又は13日(火)  
15時～17時

会場 港区芝公園「黒龍芝公園ビル」



3. 国際基督教大学のオルガンコンサートのお願いが届いています。東京三鷹RCの創立50周年記念事業の一環として行われます。多くの皆様に参加をお願い致します。

**チーム報告**

**○親睦活動出席チーム**

※出席報告

竹前理映子委員



会員総数	出席免除	出席義務者	本日の出席/内免除会員
47名	4名	43名	36名/2名
事前メイクアップ	本日の出席率		
0名	83.72%		
※メイクアップ10月6日訂正 畢焔会員 88.37%			

**ORLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)**

※パートIの報告 柳 賢司 会員

10月1日(土)ロータリー・リーダーシップ研究会に参加しました。研修会はパートI、パートII、パートIIIとありますが、昨年度パートIIIからスタートさせていただきましたので、12月開催のパートIIに参加する予定であります。一つ50分ほどの研修で6つほどの研修がありました。参加者が発言して自分の考え方の発表する場で、自分のためになる研修会でした。残念だったのは今回安保さんがディスカッションリーダーとしていらっしやらなかったのは寂しく感じました。



**○IM実行委員会**

※報告

矢口 完 実行委員



10月3日(月)立川パレスホテルで開催されました。実行委員会には私(矢口会員)と坡山会員で出席しておりますが、4月12日にIMを行う事で決まり、内容について協議しました。

記念講演として水野正人ミズノ会長(東京RC所属)の講演で決まりました。基調講演、卓話は財団奨学生、各クラブ会長による例会自慢、懇親会などの構成で協議、結果、会長による例会自慢はなくなりました。会長も何かの場で話すことがあるようです。

第3回実行委員会は12月に開催されます。

**○ゴルフ部会**

※報告

矢口 完 幹事長

10月5日(水)東京昭島RC親睦ゴルフコンペが開催されました。

優勝 荒巻正康 会員  
準優勝 斉藤 貢 会員



左より 安保会長  
優勝 荒巻正康 会員  
準優勝 斉藤 貢 会員  
矢口ゴルフ部幹事長  
相田幹事

**○会員増強委員会**

※報告

大貫 政義 委員

10月6日(木)くいものや“ぜん”で安保会長、相田幹事、菊池委員長、伊藤会員、三田会員、私(大貫政義会員)と前年度西野委員長、前々年度鈴木圭一委員長の8名で開催しました。

今後の会員増強について協議されました。向山元委員長が作られたリストがあり、継続的に会員増強をしていく事で決定しました。

次回は11月24日(木)18時より開催予定です。



## ○親睦活動出席チーム

### ※ニコニコボックス発表 寺嶋 功 委員

**安保会長** 地区米山奨学委員会・米山推進委員長柳田一行様のご来訪を歓迎致します。卓話よろしくお願ひ致します。朝晩冷え込む季節になりました。体調など崩さぬよう皆様ご自愛下さい。



**相田幹事** 地区米山奨学委員会・米山推進委員長柳田一行様、ご来訪ありがとうございます。卓話よろしくお願ひ致します。

**柳 会員** 地区米山奨学委員長柳田一行さん、本日は米山のPR宜しくお願ひ致します。

**荒巻会員** 先日行われたロータリーゴルフにて、初優勝出来ましたのでニコニコさせていただきます。

**畢焜会員** 最近欠席が多くて、おまけに今日はバッヂも忘れてしまいました。申し訳ございません。

本日の合計 24,000円  
累計 737,000円  
予算達成まで 1,763,000円

## 卓 話

### ※卓話講師紹介

#### 地区米山選考委員会 柳 賢司委員

地区米山奨学委員会は選考委員会、推進委員会、学友委員会の3つに分かれています。今日お越し頂きましたのは、その中の推進委員会委員長の柳田様です。



柳田委員長の所属クラブは東京恵比寿RCで2010年4月に入会されています。

私も選考委員として出向させて頂いておりますが、柳田委員長にはいろいろ的確なアドバイスを頂いております。

推進委員長の立場として皆様にご説明頂き、米山奨学制度を深めて頂けると思います。

### ※テーマ「米山奨学記念奨学事業について」

#### 2750地区米山奨学委員会

#### 米山推進委員長 柳田 一行 様



昭島RCさんは米山に関して多大なるご支援、ご理解の深いクラブさんで、昨年もトップ10に入るクラブ表彰を受けていただいたり、今年も米山奨学生孔陽丹さんを受け入れて頂いて米山奨学委員会としては深い感謝をしております。改めて御礼申し上げさせていただきます。

米山奨学事業がどういう形で生まれてきて、今どういう過程を経て、どうなっているかを皆様にしかりお伝えしたいと考えております。

私は、地区米山奨学委員会の中では、米山推進委員会という3つの小委員会の中の一つの委員会の委員長を仰せつかっておりますが、推進委員会というのは、ひと言で言うと、寄付集めの委員会です。この時期10月になりますと、どうしても「米山月間」と言うことで、皆様には寄付寄付と言うことで、クラブの委員長さんは頭を抱えていると思います。今年の推進委員会の方針は、寄付のお願いは米山をしかり理解して頂くために、皆様への啓蒙活動をしかり行うことから今日はお話をさせていただきますと思います。

米山の「豆辞典」は各クラブに配布されています。今日お話しする内容は「豆辞典」を加味したものをお話しさせていただきます。

はじめに「ロータリー米山記念事業とは」ですが、米山奨学会というのは、ロータリー米山記念奨学会という元米山財団で生まれた、米山基金として生まれ、今「ロータリー米山記念奨学会」という位置づけになっています。事業の使命としては「将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成する事です。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのもので奨学事業の使命を受けています。

クラブ定款の中には、第4条に「ロータリーの目的」というのがあります。「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある」と言う事で、第4に奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。とはつきり書かれています。正に我々はロータリアンとして、国際理解、特に米山の場合米山を通じて奨学生達各国いろいろな国の青少年達との国際理解、親善、そして平和を推進する。そのためにロータリアンとしてもあるんだと言うことが定義づけられています。

今、我々が携わっている米山記念奨学事業は、日本だけの独自の事業です。国際ロータリーは、しかり認めてくれています。ただ実行しているのは日本の34地区、克つ34地区の合同活動と云うことで実行されている奨学事業です。日本国内では最大規模の奨学事業になっています。

そして大学生、大学院生を中心に日本で学ぶ外国人留学生を支援すると言うことが米山奨学事業の大きな目的です。

特徴として、世話クラブという制度があります。各クラブの皆様は奨学生を預かって頂いて、一緒に関わって頂く、ロータリーのことをいろいろ教えて頂く、彼等彼女たちはロータリーからの恩を凄く感じています。皆さんと共にその芽を大きくして行っていたきたいと云う事で世話クラブ制度があります。そしてカウンセラーというのが必ず付きます。カウンセラーは奨学生達のお父さん、お兄さん、お姉さんとなって、しかりと日本での生活をサポートしていただく、ロータリー活動もサポートしていただき、カウンセラーの方達に非常に多大なるご活躍を頂いております。

米山の事業は、日本ロータリーの初代会長米山梅吉さんのご威徳を継ごうと云うことで始まった事業です。ご威徳は何かというと、戦前米山梅吉さんは、特にアジアの留学生、苦学生達に無名で多額の援助を惜しみませんでした。米山梅吉さんも渡米中には非常に苦しい学生でした。ご自身の経験から海外から来る人をしかりサポートしてあげようと、日本に戻られてから無名で多額の支援をされてきました。1920年に日本のロータリーを作られました。米山奨学は米山梅吉さんが作った事業ではなく、1952年に米山基金というものを作り、当時東京RC会長の古沢文作さんが、構想し、立案されました。

日本は1933年国連を脱退し、1940年にRIも脱退しています。1941年から1945年に太平洋戦争に入り、終戦を迎え1949年にRIに復帰しています。米山梅吉さんは1946年に亡くなられました。

以下、「ロータリー米山記念奨学会」年表一部

- 1952 東京RCが奨学事業の構想を立案
- 1953 「米山基金」の募金開始
- 1954 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957 全国組織とすべく、財団法人化を前提としたロータリー米山奨学委員会を結成
- 1958 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959 世話クラブ制度設置
- 1967 文部省から財団法人の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立 (1868-1946)
- 1971 カウンセラー制度設置
- 1972 米山功労者制度の公定
- 1978 特別寄付金への免税措置の認可を得る

たくさんの奨学生達は学友となって平和の架け橋として活躍している事業が「米山記念奨学事業」です。どうぞご理解の程宜しくお願ひ致します。

### ※謝辞・記念品贈呈 安保 満 会長

左より 安保会長、柳田一行様  
相田幹事



## 閉会点鐘

## 安保 満 会長

第2380回 10月27日(木)  
卓話「カンボジアプロジェクト」その後について」  
ASAP 大沼 陽子 副理事長